

【令和6年度 JR 東日本寄附講義】

いわて観光・地域魅力発掘人材育成講座 観光列車を活かしたいわての魅力の発掘と観光プログラム

目 的：

岩手県は本州で一番の面積を有し、三陸海岸から北上山地に奥羽山脈と自然を背景に豊富な食文化を有している。また、世界遺産を3つ存在しているのも本県だけである。

このように、他県にはみられない豊富な自然・文化・社会・農水産を有することから、外国からも脚光を浴びている。また、コロナ禍では教育旅行でも来県者が増えるなど、本県の魅力を発掘し発信し続けていくことはとても有益であり、これをきっかけに移住者や関係人口の拡大が期待できる。

そこで、鉄道(地域密着路線)×いわて×地域活性化をテーマとした人材育成講座を開催し、地元岩手への関心や愛着の向上、県内大学への進学や県内就職・定着のきっかけづくりをめざす。

主 催：岩手大学

後 援：岩手県

開催時期：9月～12月

テーブルスタディ：9月～10月 隔週水曜日 18:30～20:30

フィールドワーク：11月23日(土)、11月30日(土)

研究発表会：12月21日(土)

会 場：岩手大学 教育学部1号館 E22、北桐ホール
フィールドワーク(釜石市内、八幡平市内 ほか)

対 象：高校生、大学生、その他以下の方
地域おこし協力隊、観光業従事者、自治体職員、鉄道・運輸従事者、ほか地域づくりや観光・鉄道に関心を持つ方

定 員：①クルーズコース 定員15名

テーブルスタディ、フィールドワーク、研究発表の全日程参加のコース

※テーブルスタディ(1～5)のうち3つ以上、フィールドワーク・研究発表に参加した方に「修了証明書」を授与する

②テーブルコース 定員10名

テーブルスタディ(1～5)の興味のある回を受講するコース

※テーブルスタディは1回毎に受付

※フィールドワーク(6～9)への参加は不可

受講料：無料(フィールドワーク時の保険料等、一部実費負担)

内 容：

コーディネーター 深作拓郎(岩手大学教育学部准教授・地域社会教育推進室副室長)

テーブルスタディ(講義・演習)

1. 地域と教育のつながり
岩手大学教育学部准教授・地域社会教育推進室副室長 深作 拓郎
2024年9月 4日(水)18:30~20:30
2. 地域社会の魅力発見の方法
弘前大学非常勤講師、弘前圏域移住交流アドバイザー 野口 拓郎
2024年9月18日(水)18:30~20:30
3. 地域の自然や文化に根づいた地域づくりとは
岩手大学農学部准教授 杉田 早苗
2024年10月 2日(水)18:30~20:30
4. 地域の魅力発見と地域再生ー青森県大鰐町の実践から
プロジェクトおおわに事業協同組合 副理事長 相馬 康穰
2024年10月16日(水)18:30~20:30
5. 鉄道を活かしたいわての地域の魅力発信の取り組み
JR 東日本盛岡支社
2024年10月30日(水)18:30~20:30

フィールドワーク(演習・地域調査)

6. フィールドワークとはーフィールドワークのイロハを学ぶ
岩手大学農学部准教授 杉田 早苗、岩手大学教育学部准教授 深作 拓郎
2024年11月13日(水)18:30~20:30
7. フィールドワークを計画する
2024年11月16日(土)10:00~12:00
岩手大学教育学部准教授・地域社会教育推進室副室長 深作 拓郎
8. フィールドワーク実践
岩手大学教育学部准教授 深作 拓郎、JR 東日本盛岡支社
①釜石コース 2024年11月23日(土)
②八幡平コース 2024年11月30日(土)
※コースは1つを選択
※現地までの移動は鉄道を利用。
9. フィールドワークをまとめる
岩手大学教育学部准教授・地域社会教育推進室副室長 深作 拓郎
2024年12月 4日(水)18:30~20:30
10. 研究発表会
2024年12月21日(土)13:30~15:30
岩手大学教育学部准教授 深作 拓郎、JR 東日本盛岡支社、岩手県

オプション企画

岩手県の野生動物の保護管理ー野生動物の列車衝突事故について考えるー

岩手大学農学部准教授 山内 貴義

2024年12月21日(土)10:00~12:00

※上記講座内容とは別に、主に鉄道・運輸従事者を対象に事例紹介や課題共有の講演会を開催する。講座参加者はもちろん講座参加者以外の申し込みも可能。